



地域がん診療連携拠点病院・災害拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

## 理念

130年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

## 基本方針



### 患者中心医療

患者の権利と  
意思を尊重します

### 患者診療3本柱

がん・救急・  
予防医療を中心に  
医療機能の  
充実に努めます

### 完結型医療

地域の医療機関  
との連携を行い  
安心できる医療の  
展開を行います

### 社会貢献

災害医療派遣・  
医療情報公開・  
医療ボランティアの  
活動を行います

### 医療人育成

医療に携わる  
喜びが持てる  
医療人の育成を  
行います

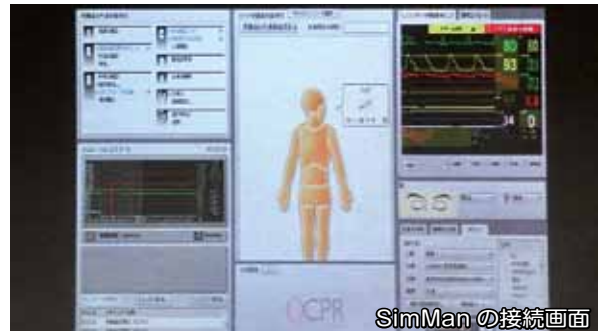
## デブリーフィングを活用した心肺蘇生シミュレーションシステム研修会



全社連による研修の説明



SimMan の接続方法説明



SimMan の接続画面

3月3日(日)老神神社会館において、東京慈恵会医科大学麻酔科准教授 松本尚浩先生よりフィードバック・デブリーフィングについて研修を受けました。デブリーフィングとは、見えるフィードバック、すなわち「次の似た状況で、よりよい実践の計画を明示できる」ことです。複雑な技能の維持は技能訓練のみでは、6ヶ月ほどで学習効果がなくなりますが、技能訓練とデブリーフィングという組み合わせの学習形態をとることで、12ヶ月も技能を維持できていたというデータがあります。これはデブリーフィングにより学習者自身が、なぜうまくいったのか、更にうまく出来るためにはどのような改善が必要かを分析することから、自己で解決策を見出す事ができ、学習者の行動の変化につながるためです。

当院では、命のエレキテルという心肺蘇生法のボランティアや院内BLS講習を積極的に行っています。これら

は定期的な訓練が重要であり、正確な技術と知識が求められますが、これまでは指導者の主観的判断で効果を確認していました。しかし、技術や知識の習得には既存のシミュレーション研修から一歩進んだフィードバック・デブリーフィング研修が必要と実感しました。

今回使用した、高機能蘇生シミュレータは、蘇生状況のシミュレーションだけでなく、学習者の蘇生状況を録画できることから、データや実際の状況を振り返ることが可能です。デブリーフィング研修の一環として高機能蘇生シミュレータ SimMan を活用した研修を行い、看護の質向上と安全な看護の提供に繋げていきたいと思ひます。

今回の研修で学んだ「もっと良くするためには」をキーワードにスタッフ育成方法として当院にデブリーフィングを根づかせていきたいと思ひます。

手術室看護師 鶴口 めぐみ

## 院内がん登録

院内がん登録は、当該施設でがんの診断・治療を受けた患者様について、がんの診断、治療、予後に関する情報を登録する仕組みです。それにより自院におけるがん診療の実態の把握し、診療体制の充実を図ることができます。また、そのデータを国立がん研究センター（以下国がん）へ提出することで国のがん対策にも活用されます。

当院は2006年10月より登録を開始し、2007年症例より国がんへデータを提出しています。昨年12月に5回目（2011年症例）の提出となりました。

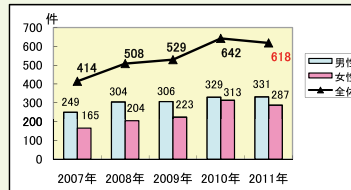
今回は2011年症例の集計結果についてご紹介します。

登録総数は618件、うち男性は331件、女性は287件で男女比は1.15となり、全国データと比較すると男女差は小さい傾向です。登録部位は全部で約24部位、登録数が多かった順に胃、大腸、造血リンパ（悪性リンパ腫・白血等）、肺、肝...の順となっています。また性別で見ると、男性は胃が一番多く、次に前立腺、大腸の順で、女性では乳房が一番多く次に大腸、子宮となっています。年齢分布は70代が一番多く、次に80代と高齢の患者様が多いことがわかります。しかし、女性に於いては40代より徐々に多くなっており、女性特有のがんである乳がん子宮がんの平均年齢は、それぞれ59.4歳、54.0歳と他のがんと比べて若いことがわかります。

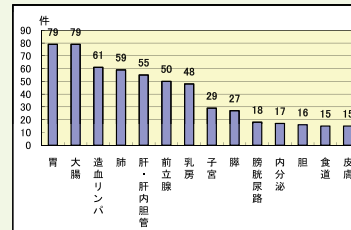
そのほか、発見経緯や病期（進行度）、治療内容等について詳しく集計したものが当院ホームページに掲載してあります。当院のがん診療について一度ご覧いただければ幸いです。

診療情報管理室 花牟禮 由美

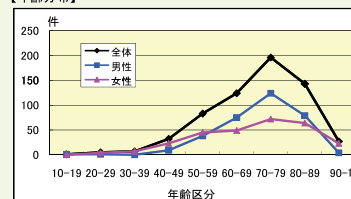
【登録件数の推移】



【主な登録部位】



【年齢分布】



## 平成26年4月に独立行政法人地域医療機能推進機構「Japan Community Health care Organization : JCHO」が誕生します。

全国にある約60の社会保険病院等（社会保険病院、厚生年金病院、船員保険病院）は、現在、独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構（RFO）が、（社）全国社会保険協会連合会、（財）厚生年金事業振興団、（財）船員保険会に運営を委託して医療を提供しています。

法律が改正されたことにより、平成26年4月に当院は、RFOが改組されて発足する、独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）が直接運営する病院グループとなります。

JCHOは、5事業（救急医療、災害医療、へき地医療、

周産期医療、小児医療）、5疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）をはじめ地域住民の多様なニーズに応え、地域医療の要としての機能を持ち、幅の広い診療能力を持つ“総合医”の養成に積極的に関与すること、医師会や市町村等の自治体と協働し地域住民が安心して暮らせる地域包括ケア実現に積極的に寄与することなどを使命としています。

庶務課 木下 学

### 南海病院

## 親善試合 & 懇親会

3月2日（土）人吉にて大分県佐伯市の健康保険南海病院とのソフトボール・フットサルの親善試合を行いました。

この親善試合は平成18年3月より始まり、今回で8回目の開催となりました。

当日はお天気にも恵まれ、白熱した試合が行われまし

た。試合は、ソフトボールが1勝1敗。フットサルが女子・男子・ミックスと行いそれぞれ1勝することができ、今試合デビューのメンバーも好プレー珍プレーで活躍することができました。

また、懇親会では病院長セレクトのお酒を酌み交わしながら両病院の親睦を深めることができました。

今後もこの交流を大切に、お互いの良い刺激にできたらと思います。

経理課 村上 佑希





## 病児・病後児保育～1年を経過して～

当院では職員のお子さんを対象にした「病児・病後児保育室」を昨年2月にスタートし、早1年が経ちました。現在、32名の職員のお子さん54名（0歳～小学生まで）に利用登録をいただいています。今年1月までの1年間の利用者数は23名で、実施日数は20日、うち2人のお子さんの同時利用が3日ありました。

利用対象者は職員の養育する乳幼児等で、病気の回復期であるため集団保育等が困難で、かつ、家庭で育児を行うことが困難である乳幼児等としていますが、病気の（※感染性の強い場合を除く）場合も状況に応じてお預かりをしています。また、初回は原則小児科の診察を受け、利用可能かどうかを先生に判断していただいています。診察後お預かりです。



これまでお預かりしたお子さんの主な症状は発熱や下痢、病名は上気道炎、胃腸炎、ヘルパンギーナ、インフルエンザ、アレルギー性紫斑病などでした。

利用児童の年齢は1歳が48%と一番多く、次に7歳、2歳、0歳、5歳でした。

病児・病後児保育室では働くお母さん（お父さん）のサポートとして、更なる充実を目指しています。職員の皆さん、お困りのときはまずご相談下さい。

～お手伝いをして下さるボランティアの方を募集中です！お知り合いの方の紹介等、お願いします。～

経理課 那須 智子

### ● 利用者の声 ●

これまで2回ほど利用させて頂きました。幼少期は病気が長引いたり、何度も繰り返したりすることがあります。そんな中、わが子がいざ病気になり、誰もみる者がいない時、病児保育の設備は大変ありがたく感じました。看護師さんにみて頂けるので、こちらも安心して仕事をする事ができるのが何よりの利点だと思います。今後も引き続き運用していただけたら幸いです。

予防医療センター 濱田 由香梨

## 当院における鏡視下 そけいヘルニア手術

そけいヘルニア手術には優れた術式がいくつもありますが、当院では平成12年から完全腹腔外腔アプローチによる鏡視下そけいヘルニア修復術（TEPP）を積極的に行っています。

そけいヘルニアとは、いわゆる「脱腸」のことを指します。足の付け根のあたりが膨らんでくるのが主な症状で、痛みを伴うことがあります。膨らみの中は袋状になっていて、そこに腸が出たり入ったりしています。放置するとだんだん膨らみが大きくな

り、自然に治ることはありません。有効な治療は手術だけです。

TEPPはいわゆる内視鏡手術であり、その主な利点は術後の疼痛が出にくいことと、複雑なそけい部の構造が良好な視野で確認できるので、より確実な修復が可能となることです。ただし、以前に前立腺の手術を受けたことがある方はこの手術が受けられないことがあります。

また、嵌頓といって腸がはまり込んで戻らなくなることが時々あり、この場合はそのままにしておくと腸が腐ってしまうこともあるため緊急手術を行います。

当院では現在までに500例以上のTEPP経験の蓄積があり、再発率は1%未満です。



外科 辛島 龍一

## 4月から患者呼出、診察誘導システムの運用を開始します！！

### 呼出カード ご利用の流れ

1. 来院されましたら受付で呼出カードを外来患者全員にお渡しいたします。診察券又は紹介状のご提示を願います。
2. 呼出カードを受け取られましたら、病院敷地内でPHSが届くところであれば、どこでもお待ちいただけます。電波の届かないところに行くと圏外表示マークが点滅し、ピーピー音がなりますので待合フロアにお戻り下さい。
3. 診察が近づきましたら呼出カードに診察が近づいたことをお知らせするメッセージが表示されます。表示された診察室、検査室付近でお待ちください。
4. 再度、診察室に入ってくださいようメッセージが表示されます。患者は表示された診察室にお入りください。
5. 診察および検査が終了しましたら、2階会計窓口

にお越しください。会計が終了しましたら、呼出カードに会計が出来たことをお知らせするメッセージが表示されます。

6. 精算終了後、呼出カードをご返却ください。

### 呼出カード（受信機）



※ご来院の際には、初診時にお渡ししております診察券を必ずご持参下さい。なお、再発行手数料は63円です。

医事課長補佐 日曾 幸治

## 熊本大学医学部5年次生 特別臨床実習 No.2

1月21日より順次1週間ずつ（産婦人科は3日間ずつ）、当院にて熊本大学医学部5年次生の特別臨床実習が行われました。実習の感想を頂きましたので、掲載させていただきます。



「クリニカル・クラークシップ」という実習において、1月28日から2月1日まで外科で実習をさせていただきました、熊本大学医学部医学科5年の香川正樹と申します。大学病院の実習プログラムで人吉総合病院を希望し、こちらに参りました。

今回は1週間という短い期間でしたが、とても濃い内容の学習ができました。私が最も勉強になったと感じたのは病棟での仕事や入院患者さんの健康管理などです。もちろん疾患についての知識や診療に関する姿勢、また外科ですので手術に関する技術や知識も重要です。私自身もオペに入り、先生方の手技を見学することにより、座学では学べないことを数多く学べました。しかし、それ以上に重要だと感じたのは、「患者さんを診る」をいうことです。患者を診ずに病気を見るのはダメな医師で、そのようになるべきでないと日ごろから教わっており、また私自身もそうだと感じていました。そして人吉総合病院に来て、先生方が患者さんのことを真剣に考え、治療なさっているのを肌で感じ、このように人としての温かさを忘れない医師になり

たいと強く思いました。

さらに救急外来でも実習をさせていただきました。救急というのはいつ患者さんが来るか分からないという性質上、常に気を抜くことなく診察・治療・経過観察を行います。非常にきつく、大変ではありますが、それと同時にやりがいがあり、なくてはならない分野です。救急車で来た患者さんの診察を行っている研修医の先生方の姿を見て、私も先生方のようなハイレベルな診療ができるようにならなければならない、という思いと、あと1年ほどで卒業し、医師として働き始めるにあたって不安を感じずにはいられませんでした。そのためにこれからますます勉学に励むことはもちろんのこと、患者さんと向き合う姿勢についても身につけていきたいと思います。

最後になりましたが、今回の実習でお世話になりました先生方や看護師・事務の方々に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

熊本大学医学部医学科5年 香川 正樹



私は熊本大学医学部産婦人科の特別臨床実習生として、2月12日～14日の3日間人吉総合病院で実習させていただきました。実習では外来、病棟、手術を見学させて頂きながら検査から診断、治療に至るまで詳しく学ぶことができました。また午後は主に妊婦検診に付き添わせて頂きました。先生方から熱心にご指導して頂いたおかげで、大変実りある実習だったと感じております。

実習中は常に先生について回っていたのですが、先生と患者さんの距離が近く、何でも相談できる信頼関係が築かれており温かみのある医療を目にして素直にすごいなと感じました。外来、病棟を1日何回も往復し、いつでも患者さんの急変時にはすぐに対応する先生方の姿は大変輝いて見えました。私も先生方のような医師に1日でも早くなりたいと感じました。

また実習後の夜は先生方のご飯・飲み会に参加させて頂き、沢山の先生から貴重なお話を聞くことができとても楽しい時間を過ごすことができました。今回の実習では人吉の温泉に入る機会も与えて頂き、心身ともに癒され幸せでした。コメディカル、スタッフの皆さんにも温かく迎えて頂き、色々とお世話して頂いたことを心から感謝しております。

いよいよ医師国家試験まで1年をきって、改めて気が引き締まる思いです。医師となり近い将来人吉の医療に貢献できる日が迎えられよう、残りの学生生活を日々勉強、実習に一生懸命励みたいと思います。

最後になりましたが大竹先生、瀬戸先生、岡留先生には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

熊本大学医学部医学科5年 椎山 理恵



人吉総合病院のスタッフの方々の温かさを感じた3日間でした。

私は、初めて人吉総合病院を訪れました。緊張のせいか楽しみのせいか1日目にはまさかの38度熱発。医学生として実習に行ったはずが患者として診療を受けることとなり、たった3日間の実習のうちの1日をホテルで寝て過ごすことになってしまいました。しかしその際、たいへんな迷惑をかけてしまっているにも関わらず先生や外来の看護師さんがとても親身に対応してくださり期せずして患者として人吉総合病院を体験し、温かい病院だなと感じました。先生、看護師さんや庶務課の方には本当にご迷惑をお掛けしてしまいましたが、これも貴重な体験となりました。

翌日からの実習では外来、手術室、病棟と見せていただきました。特に印象に残っていたのは研修医の先生が新生児のかかとかからの採血や妊婦健診でのエコーをされていたことでした。これから研修を行う身としてはこの

病院では研修の先生方が実地において具体的にどのような研修をされているのかが気になっていましたが、人吉総合病院では指導医が研修医にしっかり教育をなさった上で任せられるところは任せる、という姿勢が徹底されていると思いました。5年生の私が訪れたときも時間があれば次の日の手術についての説明、CTGについてのお話など、教育に対して非常にバイタリティを感じました。

さらに先生、スタッフの方々とお食事をいただく機会があったのですがそこでも感じたのはみなさんの仲の良さです。お互いに信頼し医療に取り組む仲間としてだけでなく家族のような温かさを感じました。学生の私にも分け隔てなくお話ししていただきとても楽しい時間を過ごさせていただきました。

木村院長先生はじめご指導していただいた先生、スタッフの方々に深く感謝いたします。たいへんお世話になりました。ありがとうございました。

熊本大学医学科5年 田中 里奈

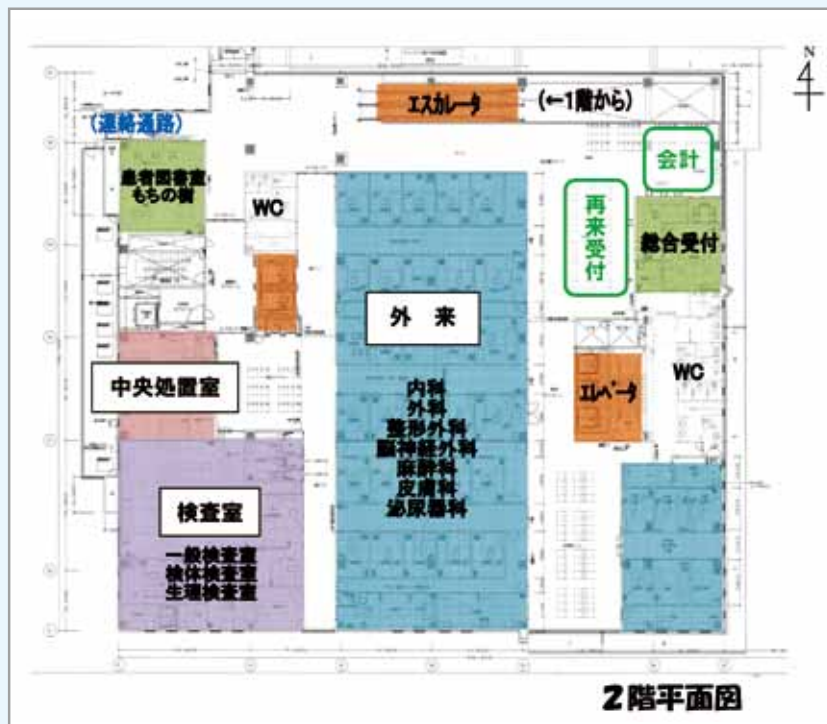


## 病院建替え工事 進捗レポート

No. 13  
情報企画課

新病院2階は外来診療ゾーン。総合受付があり、外来、中央処置室、検体検査室、生理検査室を集中配置しています。受付まわりには、再来受付機および自動精算機も設置予定です。また、病気や治療法、薬などについて書かれた書籍、パンフレットなどを集めた「患者図書室」も開設します。

先に改修した西棟（現在の健康管理センター棟）2階にある耳鼻咽喉科・歯科口腔外科・眼科・小児科・産婦人科は現在の場所に残り、連絡通路で本館とつながります。



\*工事進捗写真\*



(病院北側から 2013/3/6)



(病院南側から 3/16)



(1 F エレベーター吹抜け 3/16)

## 静脈血栓塞栓症（VTE）予防への取り組み



静脈血栓塞栓症は、血管にできた塊などが肺や足などの血管を詰まらせることにより発症する病気です。肺の血管が詰まってしまうと生命にも関わる重篤な病気ですが、予防できる病気でもあります。

そのため当院でも「チームヘパリン」を結成し予防に取り組んでいます。

今回は、当院でのチーム活動とVTE予防の実践について紹介します。

チームは医師6名、看護師10名、臨床検査技師1名、薬剤師1名、事務1名の計19名のメンバーで定期的に集まり、マニュアルの検討や事例の検討を行うとともに院内学習会を開催し知識向上を進めています。

VTEを予防するために、まず入院時にVTEがあるのかを確認します。血液検査を行い、VTEが発見された場合はCT検査や超音波検査を行い、治療や予防策の指標とします。入院時に患者様1人1人に対してリスクの分類を行います。リスクは最高・

高・中・低リスク（危険性）の4段階に分類されます。とくに手術などに伴うVTEを早期から予防することは安全な医療の提供の一歩であると考えます。

実際の予防として理学療法と抗凝固療法があります。理学療法は医療用のストッキングや下肢を圧迫するための器械を使用します。簡易で適応も広い反面、単独での効果は不十分と言われています。抗凝固療法は血の塊ができないように薬剤を用いるため、効果は確実ですが出血の危険もあるため使用できない状況もあります。そのため、リスク分類や患者様の状態に応じ予防策を選択し組み合わせ実践しています。特に手術を受ける場合は、危険性が高まるため術前・術中・術後の3段階に分けそれぞれの場面と状況に応じた予防策を選択し実施します。

今後もチームメンバー一同、VTE予防に努めてまいります。

ご質問やご意見等ありましたら、院内スタッフへお気軽にお尋ねください。

チームヘパリン 尾方 陽子

## 第18回 緩和 家族会

当院では年に3回、2階リハビリ室内和室にて緩和家族会を開催しています。緩和家族会では、それぞれ亡くなられた家族のことを思いながら、思い出や現状など様々なことを話し合われています。平成25年3月16日に開催された「第18回緩和家族会」には14名のご家族に参加を頂きました。毎回、会の中ではスタッフの企画も行っています。これまで行ってきた企画は、心に残るポエムを紹介、リラクゼーションの方法、患者さん家族のシンセサイザーなどです。今回は私が「悩み

方のヒント」というタイトルで、不安な気持ちとの向き合い方を紹介しました。不安は希望と表裏一体になっています。「あるがまま」に不安を受け入れ、その裏側にある希望にも目を向けていく考え方を伝えました。家族の皆さんも不安を感じつつも、前向きな姿勢も同時に語られており、それを共有できるよい時間になったのではないのでしょうか。

臨床心理士 畑田惣一郎





次回平成二十五年四月四日(木) 十四時から予防医療センター二階の図書コーナーで開催致します。  
ご自由にご参加下さい。投稿のみの参加もできます。  
院内設置の投稿箱にご投稿下さい。

- 笑って健康促進！
- 第86回 翔幻会開催！
- 平成二十五年三月開催分の句をご紹介します。
- どうぞ鑑賞下さい。
- 川柳句会「翔」平成二十五年三月分
- るるんと昔の姫が雛飾る
- ヘルメット革ジャン脱いで姫になる
- 令嬢の育ちにしてはよく値切る
- お姫様抱っこされたしダイエット
- いちひめが清く正しく育ちすぎ
- 買い物はケーキの前で葛藤す
- 紅白の南天すっかり鳥のエサ
- すぐに出ぬ言葉寂しい若くなれ
- 涙ぐむ朝昼ドラマ水戸黄門
- 残念だ宝くじやつ逃げおった
- 良い事が有りそうな朝のお茶柱
- ほろ苦さ美味しかったよ落のとう
- 収穫を終えたあとにはお礼肥え
- 帰省子の車座トーク夢多い
- カレンダー花まる印遊びの日
- 短パンの生足が闊歩春近し
- 傘寿喜寿祝つつもりがア転倒
- オペ終わり友と娘の顔うれし
- 歩行器にこの身ゆだねてそとと着ぎ
- 看護師の首にまき巻き用をたす
- ヘルパーの踊りたのしい三時の茶

良子 良子 良子 良子 良子 緋紗 緋紗 緋紗 佐津子 佐津子 佐津子 保義 保義 レイ レイ レイ 章子 章子 章子 章子 章子

## 新 任 紹 介



いちまつ かおり

一松 香 (3階・看護師)

最終卒業校：出水中央高等学校

趣味：旅行、映画鑑賞

モットー：努力は裏切らない

長所：おおらか

自分のコマーシャル：一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。

当院では、職員の心と体の健康づくりを目的とし、講師に日本ヨーガ弾友会教師・日本ヨーガ療法学会認定ヨーガ療法士の菊池純子先生をお迎えして、“梵(ヨーガ)レッスンチーム和”を開催しております。



次回開催は、5月31日(金) 18:00～19:30 新棟3階どおあん(講義室)にて予定しています。皆様の参加をお待ちしております。



## ひなまつりごはん

当院では、毎月2回季節の行事食を取り入れています。入院中でも患者さんに季節を感じて頂けるよう、行事食ごとにメッセージカードを添えて食事を提供させて頂いております。

3/3(ひなまつり)には、ちらしずしや鶏肉の梅照り焼き、おひたし、菜の花汁、いちご、三色ゼリー、3/20(春分の日)には、桜ごはんなど提供させて頂きました。

右の写真は、ひなまつりごはんとなります。



## 2月の勉強会報告

2月15日(金) 第3回人吉球磨臨床歯科研修会

『歯科治療時の偶発症について』

人吉総合病院

歯科・口腔外科センター 石神 哲郎 先生

2月27日(水) 救急カンファレンス・救急医療研修会

『交通外傷症例』

人吉下球磨消防組合 部 欣弥 救急救命士

『参加と救急』

人吉総合病院 産婦人科 瀬戸 雄飛 先生

## 人吉総合病院図書室 新刊紹介

熊本大学大学院生命科学研究部小児科学分野 教授 遠藤 文夫先生より、小児科関係専門書の寄贈を頂きました。

貸出登録処理後、職員用図書室に配架致します。

ぜひ一度、図書室へお問い合わせください。

『先天代謝異常ハンドブック』

総編集／遠藤文夫、発行所／中山書店

『最新ガイドライン準拠 小児科診断・治療指針』

総編集／遠藤文夫、発行所／中山書店

